

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	労働法	2	山崎 文夫	
平成25年度以前	労働法	4		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)): 法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)): 法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				言語
<p>この講義では、社会人として必要な、労働者の採用から退職までの法律知識の習得を目標とする。この講義は、教職の教科科目であり、この点も考慮した講義をする。</p>				共通
授業の概要				専門基礎
<p>労働者といえば終身雇用の正社員が当たり前であった日本人の働き方が変わった。現在、有期雇用で働くパート、アルバイト、派遣労働者などの非正規従業員が、全労働者の4割に迫っている。他方で、職場の男女平等は進んでいる。この講義では、わが国の雇用の状況、正社員の採用から退職までの法律問題、パート、アルバイトの法律問題、派遣労働者の法律問題を学ぶ。職場の男女平等も学ぶ。</p>				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回:働くことと労働法</p> <p>第2回:正社員の働き方、公務員の働き方</p> <p>第3回:パート、アルバイト、派遣労働者</p> <p>第4回:労働契約法</p> <p>第5回:採用内定、試用期間</p> <p>第6回:業務命令</p> <p>第7回:懲戒</p> <p>第8回:配置転換</p> <p>第9回:出向、転籍</p> <p>第10回:労働時間、法定労働時間</p> <p>第11回:休憩、休日、変形労働時間</p> <p>第12回:時間外労働</p> <p>第13回:年次有給休暇</p> <p>第14回:賃金</p> <p>第15回:ボーナス、諸手当、退職金</p> <p>第16回:労働災害予防</p> <p>第17回:労働災害補償</p> <p>第18回:過労死、過労自殺</p> <p>第19回:解雇・退職</p> <p>第20回:男女雇用機会均等法</p> <p>第21回:パート労働法、有期労働契約</p> <p>第22回:労働者派遣法</p> <p>第23回:労働者以外の働き方</p> <p>第24回:職場の紛争解決</p> <p>第25回:調停、労働審判、裁判</p> <p>第26回:労働基本権</p> <p>第27回:労働組合</p> <p>第28回:団体交渉、労働協約</p> <p>第29回:争議行為、不当労働行為</p> <p>第30回:中学・高校生と労働法知識</p> <p>定期試験</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
山崎文夫ほか『雇用関係の法知識』法学書院				演習
参考書・参考資料等				25年度以前 法律一般コース
山崎文夫ほか『演習ノート労働法(第6版)』法学書院。山崎文夫「生徒指導が困難な状況および教員の既往歴とうつ病・自殺の公務起因性」労働法律旬報1726号。関連資料配布。				
学生に対する評価				
この講義では、期末試験(論文試験)と受講態度等の平常点により成績評価する。				